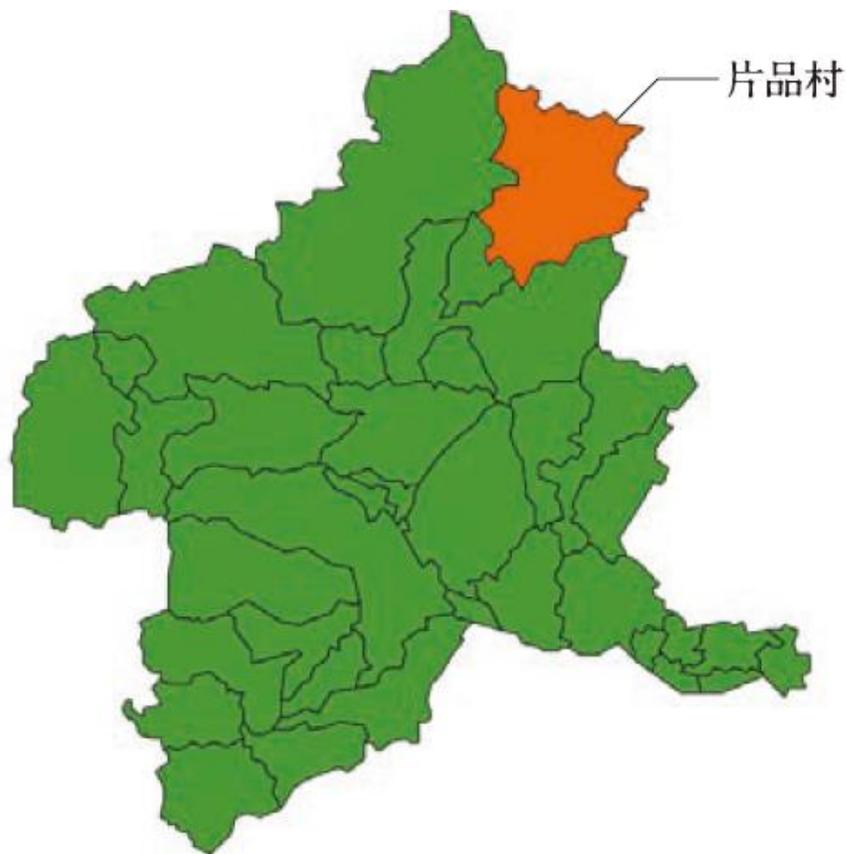


群馬県片品村 

『地域住民との共生型むらづくり』

# 片品村の概要

## 「片品村の概要」



- **標高** : 最高 2,578 m  
最低 640 m
- **面積** : 約 390 km<sup>2</sup> (8割が森林)
- **人口** : 約 4,000 人
- **世帯数** : 約 1,700 世帯
- **アクセス** : JR沼田駅より路線バスで 約 1 時間  
沼田ICより車で 約 50 分

新潟県・福島県・栃木県の県境

関東地方唯一の特別豪雪地帯に指定

# 觀光資源

# 本州最大規模の高層湿原 “尾瀬国立公園”



# 最高のパウダースノーで “ウインタースポーツ”



エリア最大規模！全16コースのビッグゲレンデ

 ホワイトワールド尾瀬岩鞍

標高2,000m、最長滑走距離4kmのロングコースを楽しむ！

 丸沼高原スキー場

スキーヤー専用ゲレンデお子さまのデビューにも最適

 かたしな高原 かたしな高原スキー場

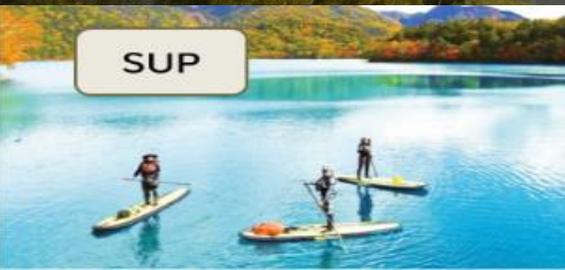
3,500mのロングクルージングと良質なパウダースノー

 オグナほたかスキー場

約2kmのコースに20以上のアイテムを設置したスノーパークが人気

 スノーパーク尾瀬戸倉

# 雄大な自然で楽しむ多様な “アウトドア&アクティビティ”



SUP



E-bike



サマー  
ゲレンデ



サマー  
リ्यूージュ



ツリー  
アドベンチャー

# 課題の整理

## 課題①

人口減少・少子高齢化

## 課題②

観光客・スキー客の減少

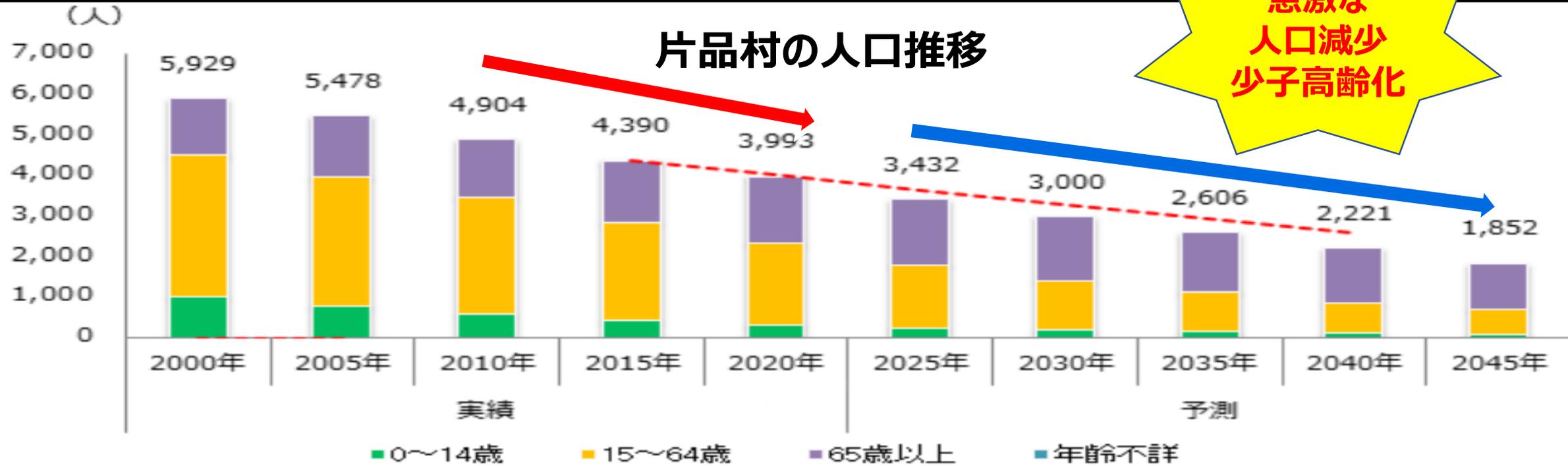
課題①

人口減少・少子高齢化

課題②

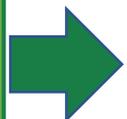
観光客・スキー客の減少

# 課題①：人口減少・少子高齢化



- ☑ 10年間（2010年→2020年）で約1000人（約2割）もの人口が減少。
- ☑ 2045年（約20年後）の推計人口は現在の半数以下（約1850人）に。
- ☑ 今後、高齢者人口（65歳以上人口）の割合は益々高まり、高齢化は加速。

人口減少  
少子高齢化



影響

税収の減少、社会保障費の増加

→ 行政サービスの低下・廃止、公共交通の縮小・廃止等

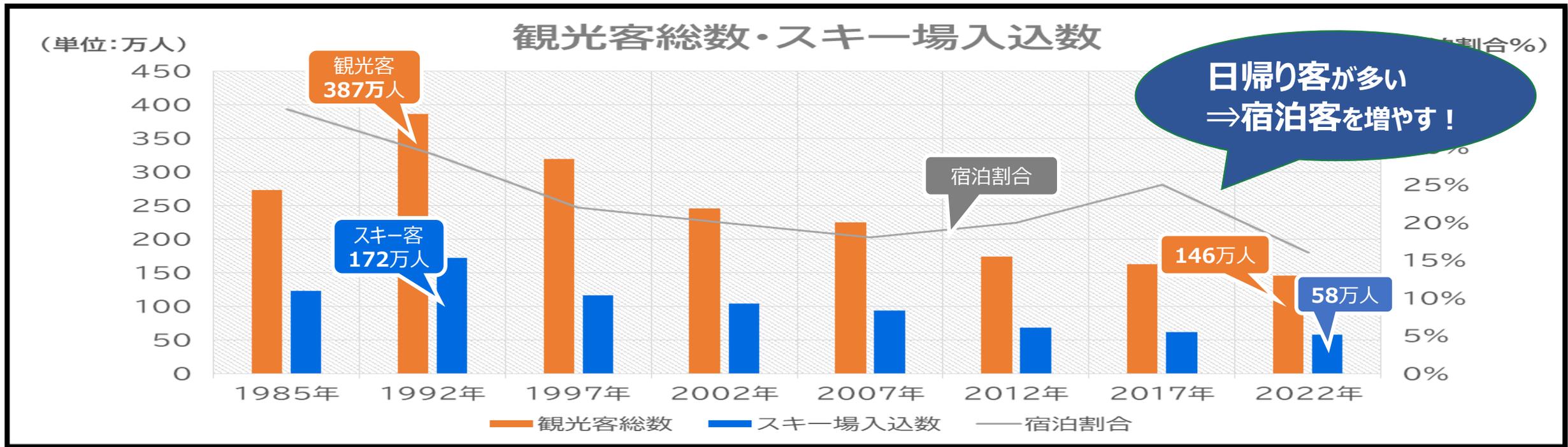
課題①

人口減少・少子高齢化

課題②

観光客・スキー客の減少

## 課題②：観光客・スキー客の減少



☑ 観光客・スキー客とも、1990年代前半をピークに大幅に減少 (ピーク比:約6割減少)

※観光客ピーク:1992年(387万人)、スキー客ピーク:1990年(174万人)

☑ また、経済波及効果の高い【宿泊割合】も大幅減少 (1985年:30%⇒2022年:16%)

※参考:草津町の2022年宿泊割合は約69% (片品村の宿泊割合の約4倍)

観光客・スキー客の減少

影響

村全体の地域経済の衰退、賃金の引き下げ、雇用の喪失 等

# 片品村の 地域創生に向けた 取り組み

村の様々な課題に向き合いながら

10年先、20年先の片品村の未来を創る

片品村が進める地方創生

尾瀬かたしな未来プロジェクト

# 尾瀬かたしな未来プロジェクト



片品村をもっともっと住みやすく



もっともっと魅力的で価値ある村に！



# 片品村の未来をつくる 公×民×民×学 連携プロジェクト

## 公（役場）

村長

（プロジェクト本部長）

副村長

（プロジェクト副本部長）

.....

地方創生推進室

※プロジェクト事務局

※プロジェクト推進母体

## 民（民間事業者）

【地域事業者】

宿泊事業者、スキー場関係者、  
観光事業者、商店、飲食店 等

【民間投資の活用】

片品村に投資や出資の  
可能性のある企業様  
ソリューション提案  
をいただける企業様

## 民（住民）

## 学（学校）

【未来構想委員会】

住民代表、事業者代表、高校生、  
大学生、有識者等で構成

【未来共創ワークショップ】

地域住民が自由に参加  
意見交換・情報共有の場

片品村の魅力为全国の人、  
世界中の人に知っていただきたい

片品村の人口減少を少しでも遅らせたい

民間企業と連携し  
より良いむらづくりをしていきたい

既成概念に捉われず良いことには  
どんどんチャレンジしていきたい



【片品村/梅澤村長】

全国  
事例  
第1号

2023年

## 片品村 × 株式会社リクルート 様

### 結婚相談所 「ゼクシィ縁結びエージェント」 と連携した少子化対策

**片品村 × ゼクシィ縁結びエージェント**  
片品村にお住まいの方限定！  
“新しい出会い”  
応援特別プラン

株式会社リクルートが運営する『ゼクシィ』から生まれた結婚相談所『ゼクシィ縁結びエージェント』と片品村は業務連携しております。

**対象者** 片品村に住居登録のある未婚の方  
**プラン内容** 『ゼクシィ縁結びエージェント』が  
入会金 33,000 円(税込)を負担  
『片品村』が初婚費用66,000円(税込)と  
最大3ヶ月分の活動費(月会費)を負担

**ゼクシィ縁結びエージェントとは…**  
ゼクシィがプロデュースする、新しい形の結婚相談所。マッチングコーディネーターがあなたにぴったりのお相手をご推薦します。プロに相談しなごら、効率的に結婚を前向きにお付き合いをいただけるようになります。

**ご利用方法**  
まず初めに、予約専用ダイヤルへ(0120-989-408)電話していただきカウンセリング予約をお願いします。その後、『ゼクシィ縁結びエージェント』高崎イオンモール店にて、3ヶ月以内にご希望した住居を提示の上申し込みいただき、サービス終了後片品村役場むらづくり観光課へ必要書類の提出をお願いします。

選べる料金プラン	月額料金
シンプルプラン	9,900円(税込) / 月
スタンダードプラン	17,600円(税込) / 月
プレミアムプラン	25,300円(税込) / 月

**ご利用の流れ**  
Step1 申し込み (ゼクシィ縁結びエージェント) → Step2 入会金無料対応 → 村居 → Step3 補助金利用申請 (サービス終了後) → Step4 利用料金補助 (片品村役場)

**【ご留意事項】**  
・ご入会にあたっては、ゼクシィ縁結びエージェント高崎イオンモール店に無料カウンセリングを来店またはオンラインで行っていただく必要があります。  
※他店舗では本施策の適用が受けられませんので、ご注意ください。  
・各種証明書等、必要書類の詳細は店舗にて案内いたします。  
・月会費の補助対象は、上記プラン3つに加え、オプションプラン 9,900円(税込) / 月の4プランになります。  
※オプション料金・体費料金・シンプルプランの月別料金などは補助対象外  
※R6年4月申込みからのサービス内容変更により発生する初婚費用66,000円(税込)は、片品村が負担します  
・片品村からの利用補助金申請の際は、以下をご準備ください。  
✓ 申込書(ゼクシィ縁結びエージェントより入会時にお渡し)  
✓ 初婚費用及び月会費支払いの証明(3ヶ月分) (印明細書/コンビニ払込取り書等)  
※初婚費用及び月会費は最終的に自身で支払っていただく必要があります  
✓ 補助金利用申請書一式 (役場HPからダウンロード)  
✓ 住民票写し (結婚前/エージェント入会時に持参したもの、または発行から3ヶ月以内のもの)  
✓ 公的機関発行の顔写真付き身分証明写真 (マイナンバー/運転免許証/パスポート等、住所が住民票と一致しているもの)  
・本施策は、下記の情報をリクルートから片品村に提供しておりますので、ご照会ください。  
○無料カウンセリング数 ○入会数 ○成婚申込数 ○申込数 ○コンタクトの成立有無

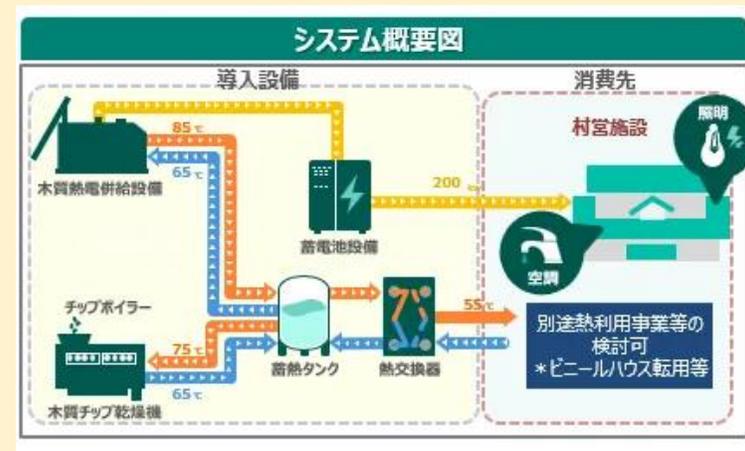
**【申請先・問い合わせ先】**  
○補助申請や提携プラン全般について : 片品村役場 むらづくり観光課 TEL: 0278 (58) 2112  
○ゼクシィ縁結びエージェントへの相談予約 : 予約専用ダイヤル 0120-989-408 受付時間 / 11:00~19:30  
予約サイト <https://zexy-en-soudan.net/yoyaku/shop/>

全国  
事例  
第1号

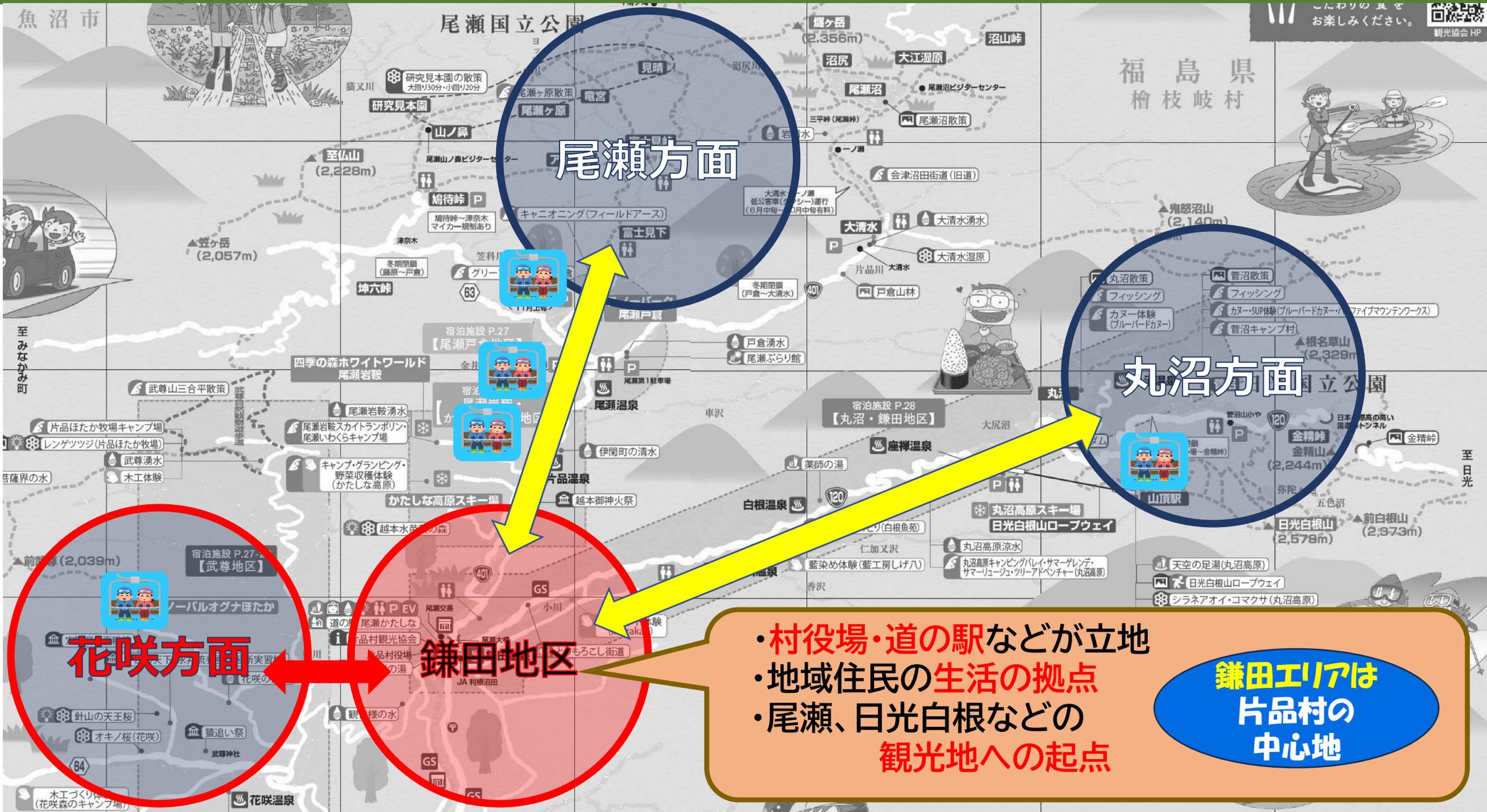
2024年

## 片品村 × 日本駐車場開発株式会社 様

### スキー場跡地を活用した バイオマス発電所設置



# 片品村の現状



• 村役場・道の駅などが立地  
• 地域住民の生活の拠点  
• 尾瀬、日光白根などの観光地への起点

**鎌田エリアは片品村の中心地**

片品村の課題

少子高齢化

地域の人口減少

観光客の減少



地域公共交通の廃止・縮小

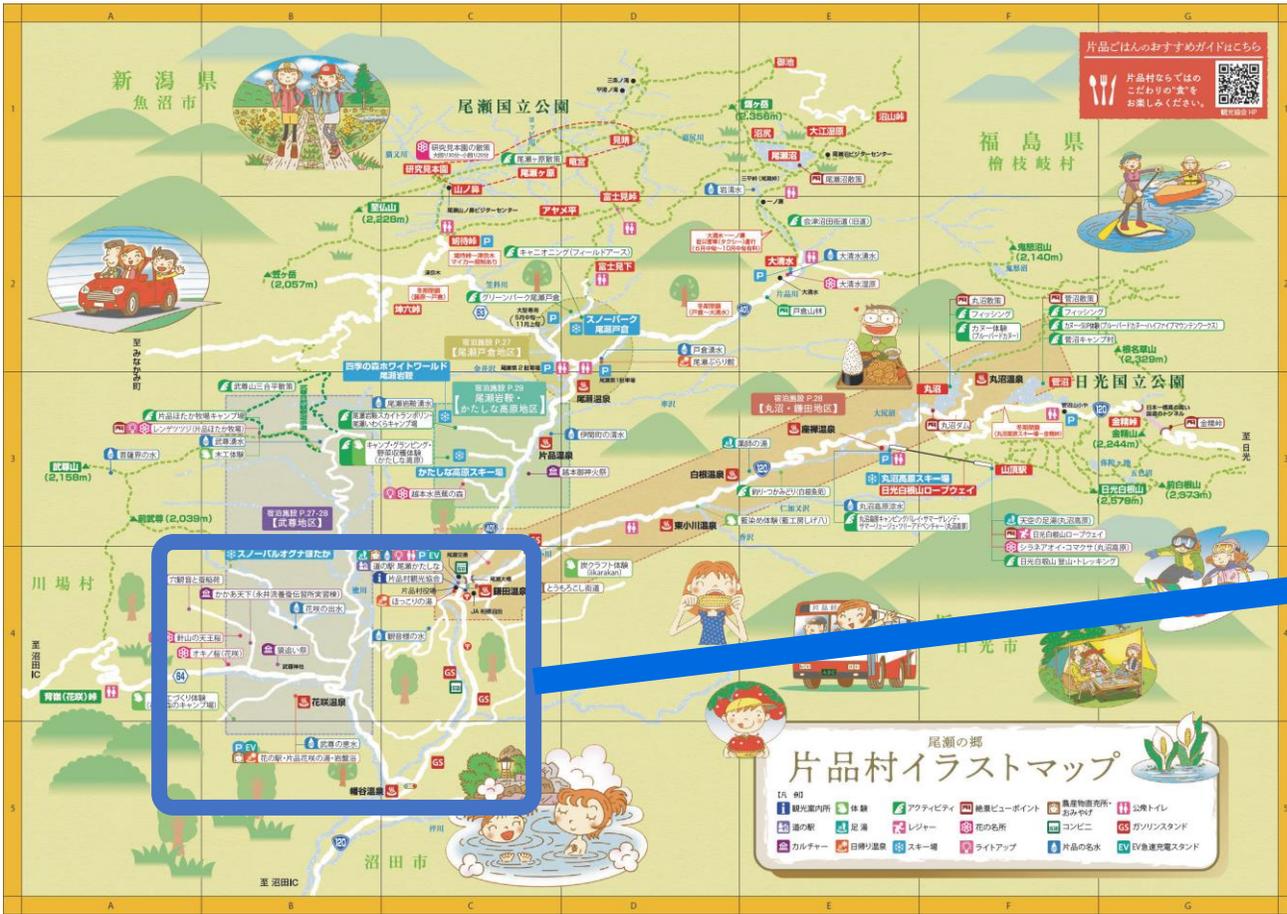
2016年3月

片品村南西部の花咲地区と

中心地の鎌田地区を結ぶ民間路線「花咲線」が廃止。

➔2016年4月より  
片品村が独自に廃止区間での花咲線代替輸送を開始。

## 「花咲線代替輸送区間」



# 花咲線代替輸送

- 委託先：片品村振興公社 株式会社
- 利用車両：ハイエース10人乗り
- 運行区間：鎌田地区 - 花咲地区
- 運行本数：1日5便運行

(内4便予約運行)

- 利用料金：無料
- 予約方法：前日17時までに電話予約
- 対象者：村内在住者のみ



花咲発				鎌田発 (片品村役場)		
停留所	定期便	※予約便	※予約便	停留所	※予約便	※予約便
①栗生住民センター	7:30	9:20	14:25	①片品村役場	11:30	16:20
②花咲住民センター	7:33	9:23	14:28	②菅沼	11:37	16:27
③登戸分岐	7:36	9:26	14:31	③築地	11:39	16:29
④登戸住民センター	7:39	9:29	14:34	④下平	11:41	16:31
⑤ガザンポイント	7:42	9:32	14:37	⑤尾瀬高校前	11:46	16:36
⑥ILカブ前	7:45	9:35	14:40	⑥幡谷入口	11:49	16:39
⑦刈野イ前	7:47	9:37	14:42	⑦上幡谷	11:50	16:41
⑧民宿村分岐	7:48	9:38	14:43	⑧花咲の湯	11:56	16:47
⑨山太屋	7:50	9:40	14:47	⑨山太屋	11:58	16:49
⑩花咲の湯	7:52	9:42	14:49	⑩民宿村分岐	12:00	16:51
⑪上幡谷	7:58	9:48	14:55	⑪刈野イ前	12:01	16:52
⑫幡谷入口	7:59	9:49	14:56	⑫ILカブ前	12:03	16:54
⑬尾瀬高校前	8:02	9:52	14:59	⑬ガザンポイント	12:06	16:57
⑭下平	8:07	9:57	15:04	⑭登戸住民センター	12:09	17:00
⑮築地	8:09	9:59	15:06	⑮登戸分岐	12:12	17:03
⑯菅沼	8:11	10:01	15:08	⑯花咲住民センター	12:15	17:06
⑰片品村役場	8:18	10:08	15:13	⑰栗生住民センター	12:18	17:09

## プロフィール

Aさん

80歳 男性  
高齢夫婦世帯  
自動車運転免許なし  
鎌田地区在住

Bさん

91歳 女性  
1人暮らし  
自動車運転免許なし  
花咲地区在住

Cさん

31歳 男性  
村外在住  
運転免許なし

## 地域の声

「夫婦で花咲地区にある、  
村営の『花咲の湯』に  
気軽に行きたい」

- バスの予約が前日までで、思うように温泉を利用できない。
- 2016年から村内を通る民間バスを含めて、利用料を村が全額払ってくれているのは助かっている。

「病院や買い物に行きたい」

- 花咲地区には食品などが購入できるお店がなくなってしまい、移動販売も来るが週一回。急に必要なものがあり買い物に行きたいこともあるが、バスが当日予約できないので、村内のタクシー会社に電話したが、夏は尾瀬のマイカー規制で出払っていて、対応できないといわれた。

「観光で利用したい」

- 冬のシーズンに東京から出ている直行便のバスで、スノーボードに片品村に行くが、花咲地区にある温泉施設までの移動手段がタクシーしかない。タクシーを利用したものの、移動距離が長く、かなり高額な金額になった。

## 課題

生活の不便さ

生活の不便さ

観光で売りだしている村にも関わらず  
観光客の移動が限定される

住んでよし。働いてよし。訪れてよし。  
そんな村を目指して地域公共交通をどうにかしたい。

ご提案いただきたいこと

地域事業者と連携しながら、  
コストを抑えた交通手段、システムの提案

過去にご提案いただいたことありますが、利用人数を考えるとランニングコストが高く導入できず…

御提案いただきたい例

例えば…

**オンデマンド交通**

交通関係以外も是非ご提案ください。

インバウンド対応

10年先20年先を見据えたもの

片品村の環境に合ったもの

民間ならではの提案内容

観光と生活が共存したもの

# 片品村として協力できること

## ①地域の協力

地域事業者(交通関係、スキー場)・地域住民が  
一体となり提案実現の為サポートします。

## ②村長の リーダーシップ

小さい村だからこそその『スピード感』。  
国の補助金などの獲得を一緒になり挑戦します。

## ③中長期的な パートナーシップ

今回の事業で終わりではなく  
未長いお付き合いをしたいと考えています。

片品村の課題解決にお力をお貸しく下さい

